

○無事故である旨の宣誓書（第4号様式）

（第4号様式）	
無事故である旨の宣誓書	
表彰の基準日（4月1日） から遡って3年間を記載	
弊社は、令和4年4月～令和7年3月までの3年間について、<u>近畿運輸局管内</u>の事業所において、自動車事故報告規則（昭和26年運輸省令第104号）第2条に規定する事故であって、表彰の基準の規定に該当する事故について、第1当事者又は第1当事者と推定される重大な事故を惹起していないことを報告します。 なお、申請期間より表彰日の間に、上記の重大事故を発生させた場合は、表彰を辞退させていただきます。 上記について、宣誓いたします。	
提出日を記載する	
令和 年 月 日	
神戸運輸監理部 兵庫陸運部長 殿	
株式会社兵ト協運輸 社長 兵庫 一郎	

○運転者教育の実施に関する説明書について（第5号様式）

（第5号様式）	
運転者教育の実施について	
私ども（株）〇〇運輸〇〇事業所は、令和6年度の1年間に、別添の資料のと おり の運転者教育を、年間計画表やカリキュラムに基づいて所属運 転者全員に対して実施しましたので、報告いたします。	
令和6年度の実施状況を評価	
自社で行っている教育のタイトルを記載	
令和 年 月 日 提出日を記載する	
神戸運輸監理部 兵庫陸運部長 殿 株式会社兵ト協運輸 社長 兵庫 一郎	

○年間計画表（第6号様式の2（陸運部長表彰用））

（第6号様式の2）

年間計画表（令和6年度） ← **令和6年度の年間計画表を記載する**

月	① 告示項目	② 告示項目以外	備 考
4月		・ヒヤリ・ハット活動	
5月	・トラックを運転する場合の心構え		
6月	・安全を確保するために遵守すべき事項	・事故防止会議	
7月	・危険の予測及び回避		
8月	・危険物を運搬する際に留意すべき事項	・危険予知訓練	
9月	・貨物の正しい積載方法		
10月	・健康管理の重要性	・ヒヤリ・ハット活動	
11月	・トラックの構造上の特性 ・貨物の正しい積載方法		
12月	・安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適正な運転方法	・事故防止会議	
1月	・適切な運行経路及び道路、交通状況		
2月	・運転適性に応じた安全運転	・事故防止会議	
3月	・過積載の危険性		

株式会社兵ト協運輸本社事業所

※義務のある国土交通省告示1366号の12項目は「告示項目」の欄に全て記載する。
 ※教育について、申請事業者の事業年度に合わせて良い。（必ず4月～3月でなくても良い）

○運転者教育台帳（第7号様式）

（第7号様式）

株式会社兵ト協運輸本社事業所

運転者教育台帳

氏 名	○ ○ ○ ○	生 年 月 日	○ 年 ○ 月 ○ 日
雇入年月日	○ 年 ○ 月 ○ 日	選任年月日	○ 年 ○ 月 ○ 日
実施年月日	時間	場所	指 導 教 育 内 容
○. ○. ○.	9:00～12:00	事務所	・トラックの構造上の特性 ・貨物の正しい積載方法 ・危険予知訓練
			・告示項目については全項目を全員に必ず実施する。 ・告示項目以外についても2ヶ月に一回程度全員に必ず実施する。

○運転者教育記録（第8号様式）

（第8号様式）		
運転者教育記録		
検	指導主任者	補助者
印	印	印
実施年月日 ○ 年 ○ 月 ○ 日 時 間 自 9時00分 至 12時00分 場 所 ○○事務所 実 施 者 所長 ○ ○ ○ ○		
指 導 教 育 の 内 容	① 運転適性に応じた安全運転について ② 過積載の危険性について ③ 事故防止会議	
	・ 告示項目については全項目、全員に必ず実施する。 ・ 告示項目以外についても2ヶ月に一回程度全員に必ず実施する。	
運 転 者 氏 名	氏 名	氏 名
	○○○○	○○○○
	○○○○	○○○○
	○○○○	○○○○
	○○○○	○○○○
	○○○○	○○○○
	○○○○	○○○○
	・ 事業用自動車を運転する運転者全員が確認できるように記載・添付する。 ・ 複数枚に渡り記録されている場合にはその全てを添付する。	
	氏名はフルネームを記入する。	
	※教育に使用した資料も添付する。	

○デジタル式運行記録計又はドライブレコーダーの装着に関する説明書について（第10号様式の2（陸運部長表彰用））

（第10号様式の2）

4月1日時点の配置車両数を記載。

デジタル式記録計又はドライブレコーダーの装着について

当該事業所におけるデジタル式運行記録計又はドライブレコーダーの装着については、令和7年4月1日現在、以下のとおり配置車両の90%以上に対して、デジタル式運行記録計又はドライブレコーダーを装着しています。**自社で行っている教育タイトルを記載する。**

その効果については、ドライバー教育に  の形で反映させています。

全配置車両数 5 台（A）
 内デジタル式運行記録計装着車両数 1 台（B）
 内ドライブレコーダー装着車両数 1 台（C）
 内デジタコ・ドラレコ併用装置装着車両数 3 台（D）

1台にデジタコ、ドラレコ両方を装備している車両の場合には、ダブルカウントせずに併用車両1台としてカウントする。

$$((B) + (C) + (D)) \div (A) = 90\%$$

登録番号	デジタル式運行記録計の装着	ドライブレコーダーの装着	デジタコ・ドラレコ併用装置の装着
神戸〇〇あ〇〇-〇〇	〇〇社製〇〇		
神戸〇〇い〇〇-〇〇	〇〇社製〇〇	〇〇社製〇〇	
神戸〇〇う〇〇-〇〇		〇〇社製〇〇	
神戸〇〇え〇〇-〇〇			〇〇社製〇〇
神戸〇〇お〇〇-〇〇	〇〇社製〇〇	〇〇社製〇〇	
計 5 台	小計 3 台	小計 3 台	

以上、報告します。

神戸運輸監理部 兵庫陸運部 殿

令和 年 月 日

提出日を記載する

株式会社兵ト協運輸
 社長 兵庫 一郎

○経営の安定化に関する宣誓書について（第 11 号様式の 2（陸運部長表彰用））

（第 11 号様式の 2）

経営の安定化に関する宣誓書について

（例示－ 1）

弊社は、G マーク取得後の平成〇〇年より、特定の荷主（（株）〇〇食品の〇〇を〇〇～〇〇の間を毎日運送している）を開拓できたことにより、売上に大きく貢献（平成〇〇年と比べ 5 % アップした。3 年間の平均でも〇 % の売上のアップを確保）することにより、当該〇〇事業所における平成〇〇年～令和〇年の〇年間の安定的な財務基盤を確保することができました。

（参考に図表を添付）

（例示－ 2）

弊社は、G マーク取得後の平成〇〇年より、G マーク取得を評価する複数の荷主（（株）〇〇、〇〇（株）、（株）〇〇）から貨物量増加の依頼を受けたことにより当該〇〇事業所における売上が 3 年間の平均〇〇 % 向上することができ、財務基盤の確保を図りました。

（参考に図表を添付）

（例示－ 3）

弊社は、G マーク取得後の平成〇〇年より、従来の荷主である（株）〇〇から更なる信頼を勝ち得ることができました。その結果、それまで〇〇だった貨物の量がこれを契機として倍の量を得ることができ、当該〇〇事業所における平成〇〇年から令和〇年の〇年間に渡り安定的な財務基盤の確保を図ることができました

以上、報告します。

令和 年 月 日

提出日を記載する

神戸運輸監理部
兵庫陸運部長 殿

株式会社兵ト協運輸
社長 兵庫 一郎

○運転記録証明書の活用についての宣誓書について（第１２号様式）

（第１２号様式）

運転記録証明書の活用についての宣誓書

弊社の㈱兵ト協運輸本社事業所においては、令和６年４月１日～令和７年３月３１日までの１年間に、選任運転者の３割以上に対して運転記録証明書を取り寄せ、運転者の違反の管理、個別指導に活用しました。

令和４年４月１日～令和７年３月３１日までの３年間に、選任運転者の全員に対して同様の活用した場合も含みますので、その場合は、それに応じた記述に変更して下さい。なお、取り寄せている期間が必ずしも同期間と一致しない場合は、できるだけ基準日に近い期間での実施とし、その後も同様の措置を講ずる旨を宣誓書に記載して下さい。

以上、報告します。

提出日を記載する

令和 年 月 日

神戸運輸監理部
兵庫陸運部長 殿

株式会社兵ト協運輸
社長 兵庫 一郎